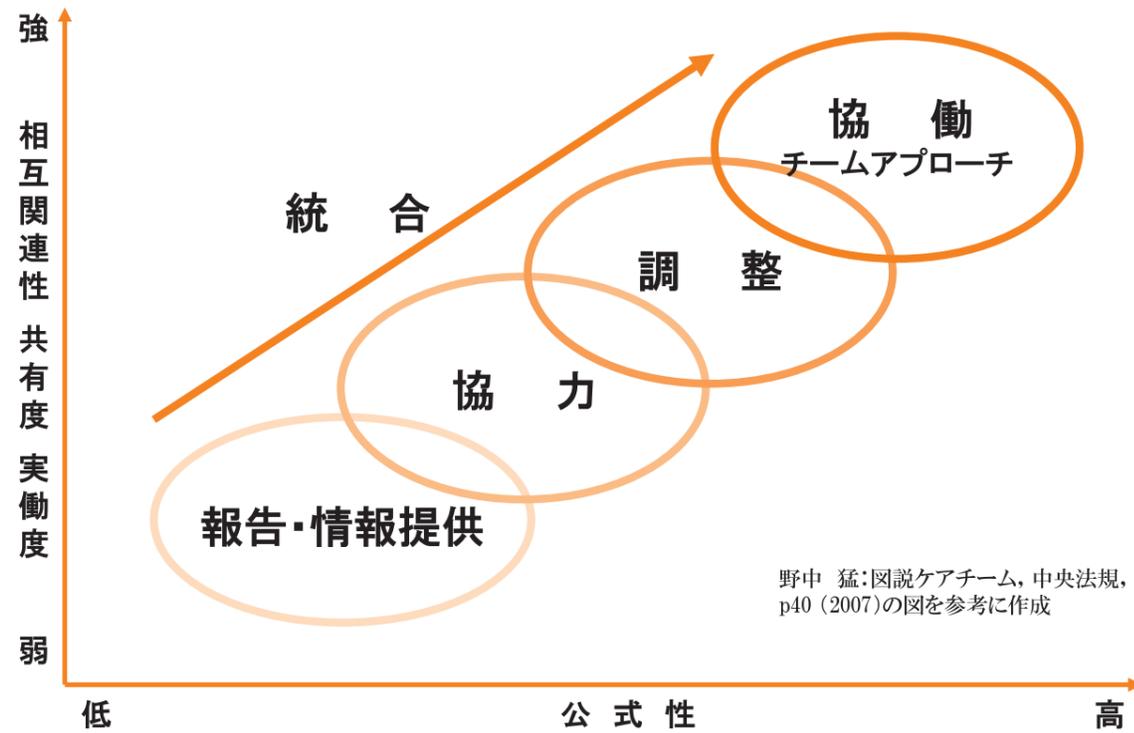


## Ⅲ 図 説

### 医療と介護の連携のポイント

2019年3月22日に行いました「医療と介護の連携促進をどのように進めていくか－事例をもとにした課題解決志向研修－」で用いたパワーポイントの資料の一部を掲載しています。末尾部分の「29事例からみる医療と介護の連携の原則」では、本事例集に掲載されてある演習問題を含む29事例から導き出された原則を整理しました。本来は、図の解説が必要なところですが、解説は各職場等で研修の意味も含めて、みなさんで検討していただければ幸いです。

## 連携の全体像

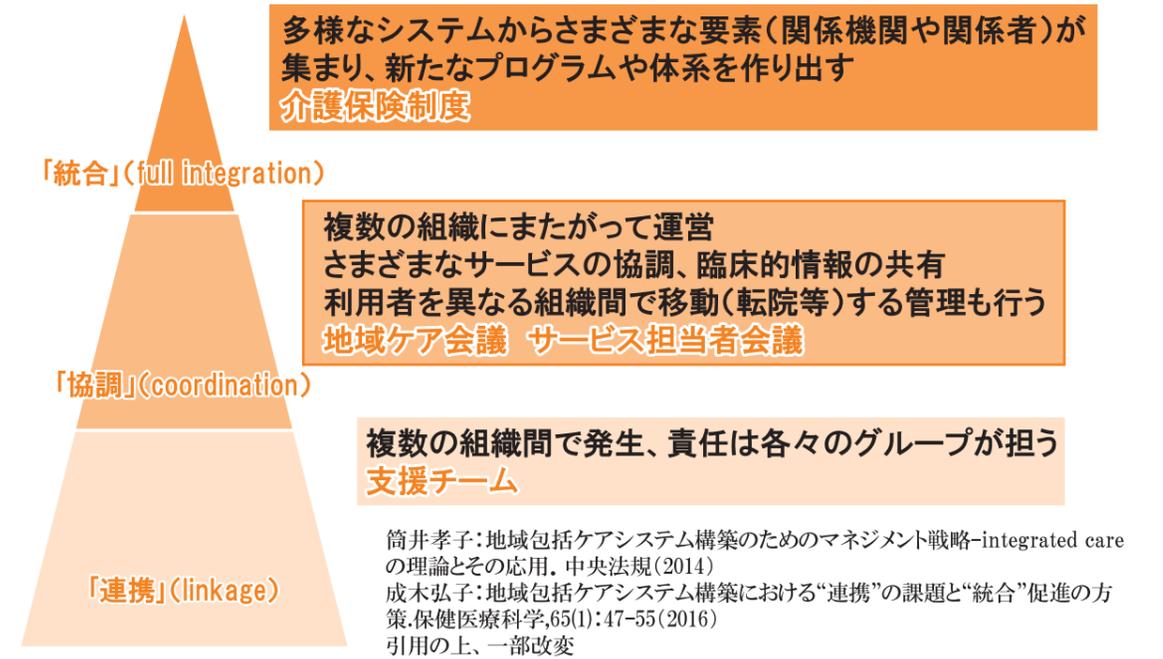


## 地域包括ケアの基本的考え方

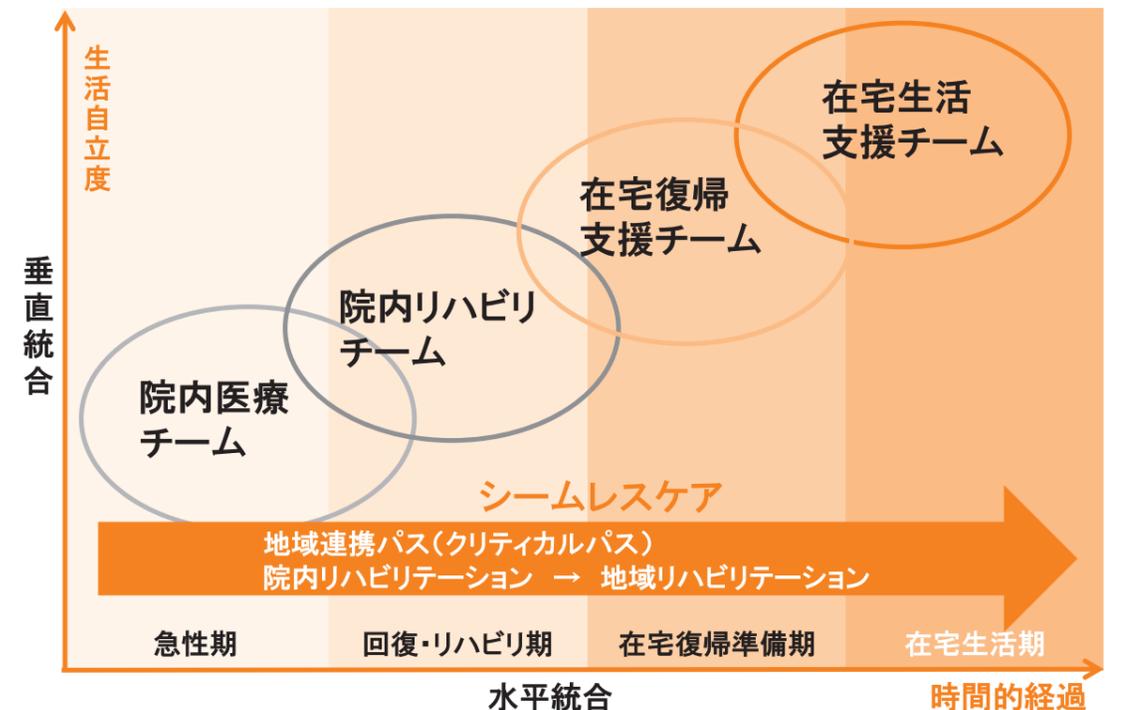
地域包括ケアシステム概念	
community-based care	Integrated care
1. 地域の実情に応じて、 2. 地域住民のニーズを尊重し、 3. 専門職だけではなく、地域住民の主体的参加を促進し、 4. 地域資源を有効活用(開発、再利用)し、 5. 包括的保健医療福祉(ヘルスプロモーション)システムを地域で担う 6. 新たな地域づくり	1. システム統合 Systemic 2. 規範的統合 Normative ☞ 多職種連携 3. 組織的統合 Organisational 4. 管理統合 Administrative 5. 臨床的統合 Clinical ☞ 多職種連携

引用文献  
 筒井孝子：地域包括ケアシステム構築のためのマネジメント戦略-integrated careの理論とその応用，中央法規（2014）  
 堀田聡子：地域包括ケアの担い手を考える-支えあい育みあうまちづくり-，医療と社会，24(4):367-379(2015)

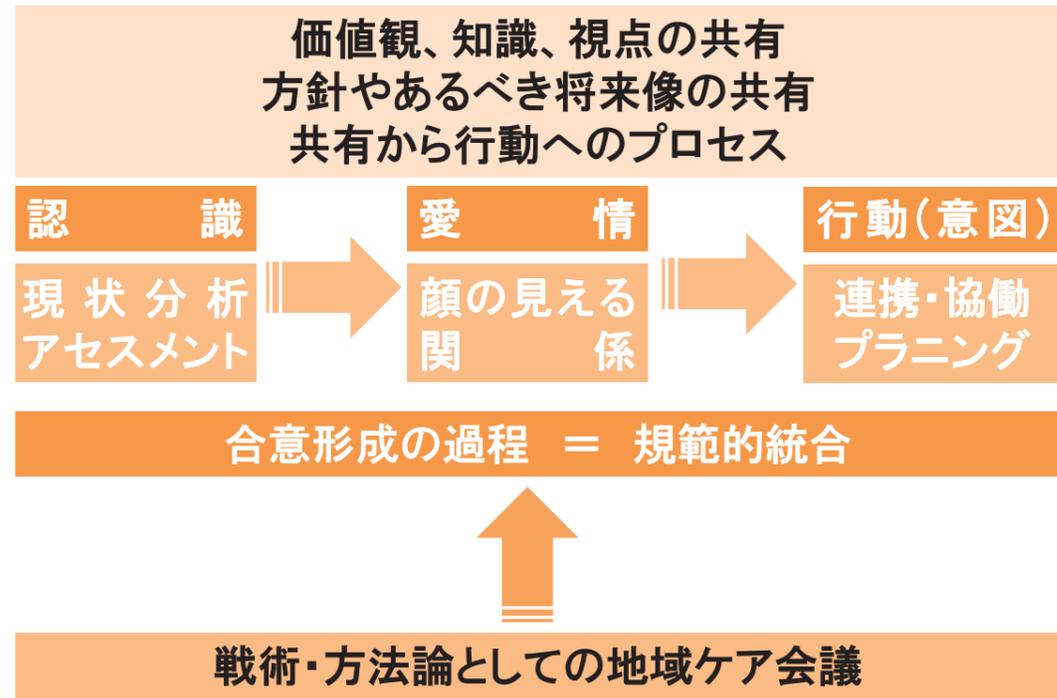
## 地域包括ケアにおける統合の強度



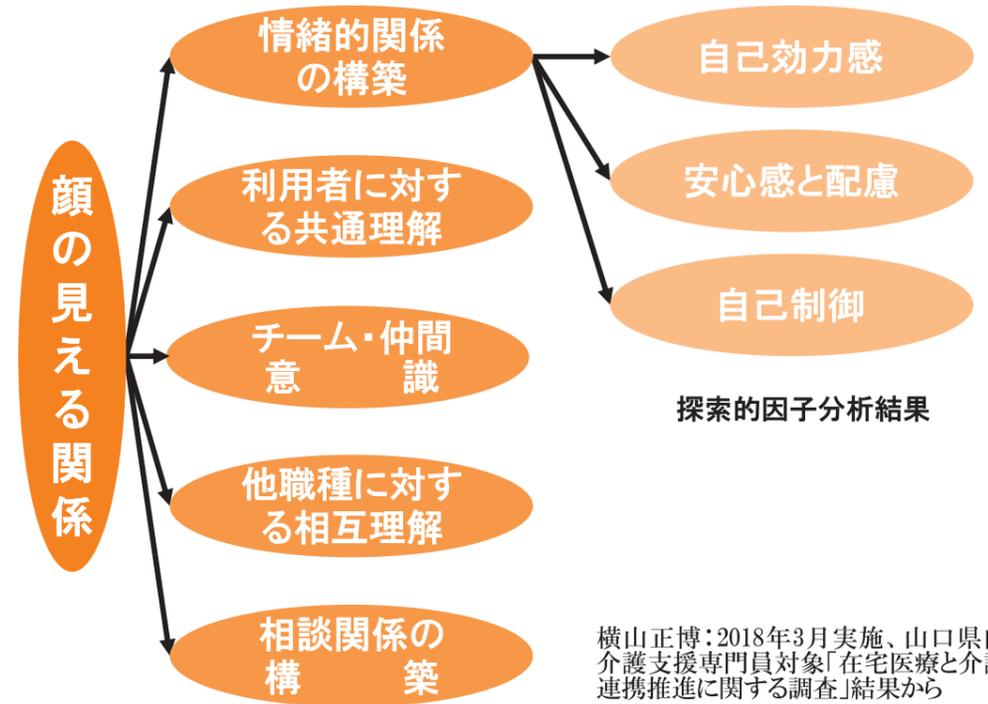
## 地域包括ケアにおける水平統合と垂直統合



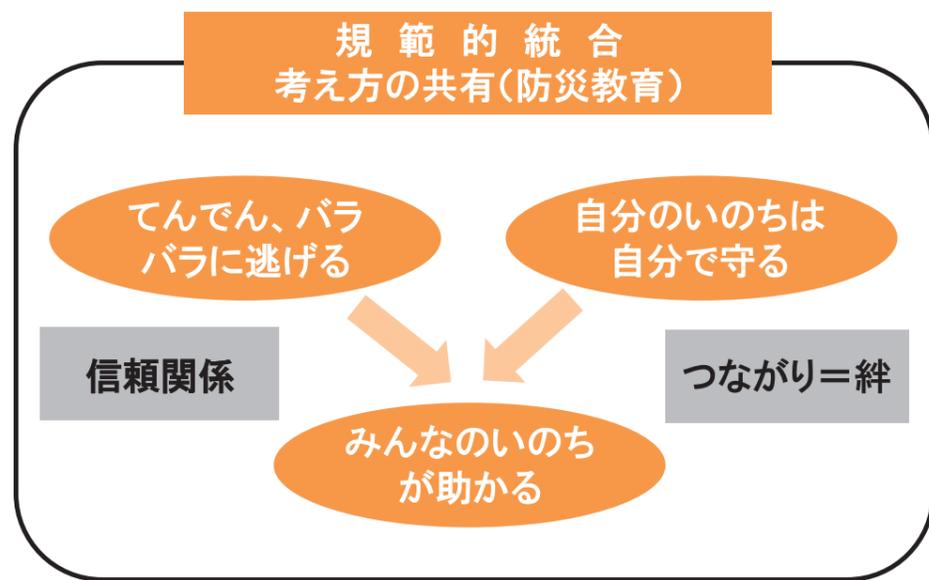
### 規範的統合



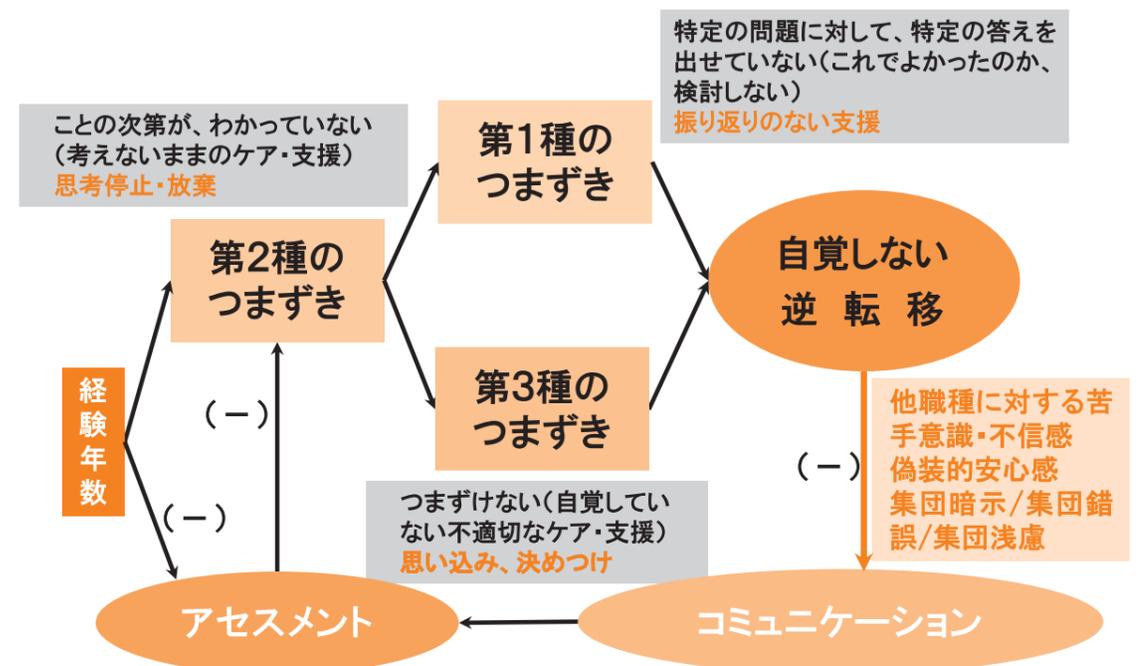
### 顔の見える関係の効果



### 「つなみてんでんこ」は規範的統合



### 連携のつまずき



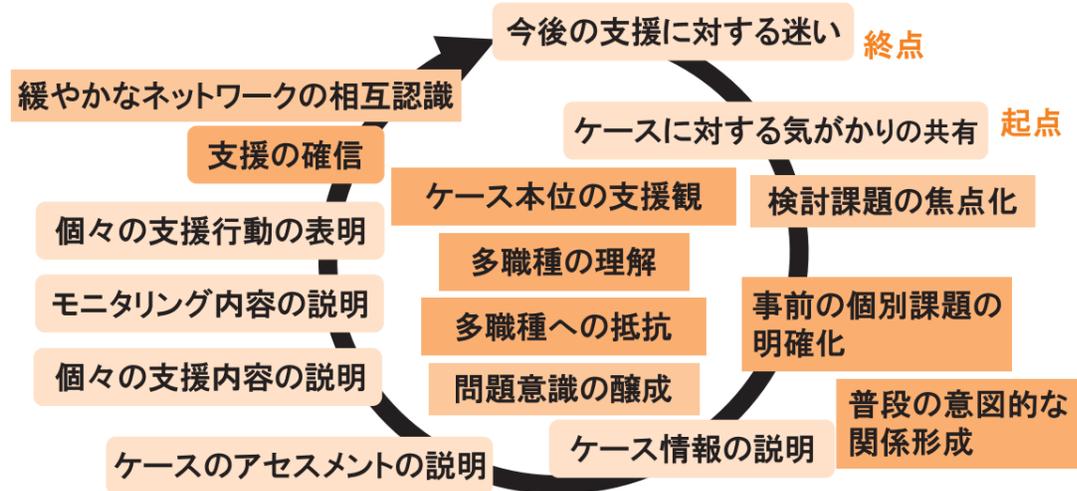
松井志保:認知症ケアにおける介護職員のつまずきの構造(2011)から引用の上改変

Ⅲ 図説  
医療と介護の連携のポイント

Ⅲ 図説  
医療と介護の連携のポイント

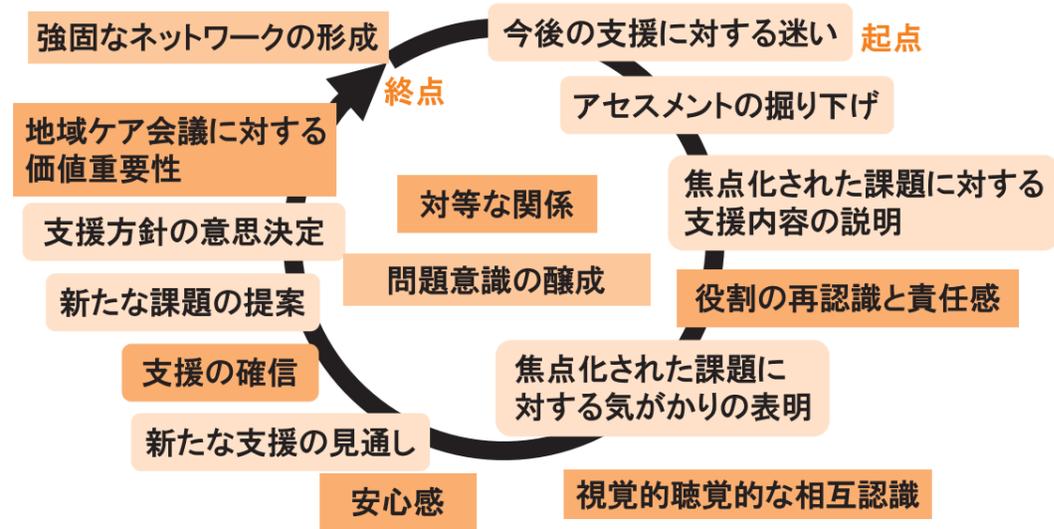
## 地域ケア会議における連携の過程 STAGE1

ケース像・生活像を共有し、課題を明確化



## 地域ケア会議における連携の過程 STAGE2

ケース課題を検討し、具体的な支援を意思決定

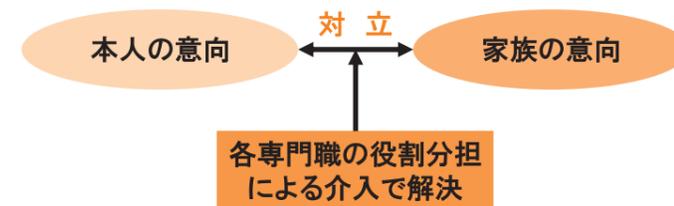


## 【図説】29事例からみる医療と介護の連携の原則

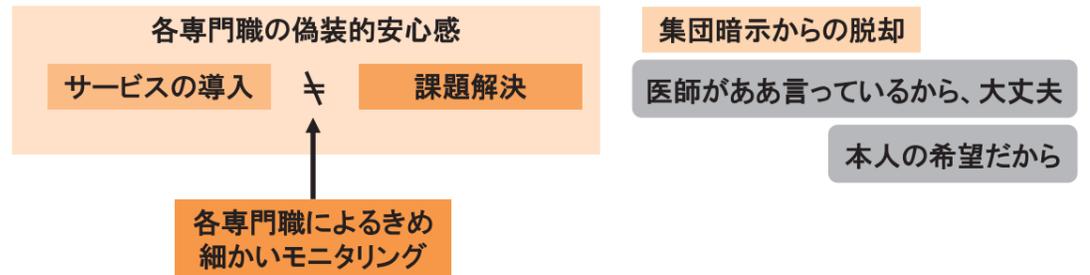
情報提供・共有の8要素

<b>What</b>	情報の取捨選択 情報の質	記録 連絡ノート FAX メール 電話 紹介状 提供書 指示書	連携 の 質
<b>Why</b>	なぜその情報なのかその根拠 何でもかんでもNG		
<b>When</b>	どのタイミングで 迅速性		
<b>Where</b>	どこから どこで どこに 環境は		
<b>Who</b>	誰が(有効か) 誰に(言えば有効か)		
<b>Which</b>	どちらが 役割の押しつけNG		
<b>Whose</b>	誰の情報 誰のための		
<b>How</b>	どのような方法で どれくらいの		

意見の対立は、実は対立ではない 連携で解決



偽装的安心感には要注意 専門職も安心がほしいが... 各職種のモニタリングでカバー



緩やかなネットワークから強固なチームへの発展

